

人と自然と文化にやさしい地域づくり

山口県教育

Education of the Yamaguchi prefecture

人間性豊かに生きる —「豊かな人間性」へ高める—

令和6年 No.1345

4



令和5年度 第76回山口県学校美術展 推奨作品
「カーキのしま」

学校法人 香川学園
宇部フロンティア大学付属幼稚園 年長(受賞時) 細井 美緒

■特別号
令和6年度 (一財) 山口県教育会の活動

■人間性豊かに生きる —「豊かな人間性」へ高める—

■令和5年度助成及び補助事業の実績

■わたしの学校経営

防府市立中関小学校	校長 亀田浩太郎
美祢市立大嶺中学校	校長 渡辺 義征

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykoyoikuk.or.jp> E-mail ykoyoikuk@ruby.ocn.ne.jp

明治36年4月第1号 4月及び奇数月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：重枝謙二



あなたのアクションは…

山口県教育会がすすめる
「元気やまぐち」三つのアクション

- ◎あいさつ 返事で 明るいやまぐち
- ◎笑顔でつなぐ 安心やまぐち
- ◎ゴミ 落書きのない美しいやまぐち

I 活動方針

人間性豊かに生きる（3年次／4年計画）

—「豊かな人間性」へ高める（1年次／2年計画）—



平成26年度から、支部活動や事業展開を通して解明に取り組んできた主題「明日を拓く」は、7年計画の最終年次に起こった新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、諸事業の実施を1年延長し実質8年間の取組を経て、県内小・中・高等学校や園の研究活動、さらには支部活動に助成を行い活性化を図ることにより一定の成果を得て終了を迎えた。

一昨年度から、新たに「人間性豊かに生きる」を研究主題として、事業展開や支部活動に取り組んできた。この主題は、激しく変化し先行きの見えにくい時代にあって、子どもも大人も自分を見失わず自立した人間として社会と深く関わりながら自分の生き方を磨く存在へと高めたいという願いに基づいている。

学習指導要領などを見ると「豊かな人間性」という言葉が目につく。「豊かな人間性」を育むことは、教育の中でも重要な要素として捉えられていることが分かる。また、「人間性」という言葉を調べてみると「人間としての本性」「人間らしさ」とであると述べられている。

未来を担う子ども達、そして私たち大人は、具体的にどのような資質や能力を備えれば、学ぶことと社会とのつながりを追求しながら人間らしく生きる、すなわち「人間性豊かに生きる」ことができるのだろうか。

本研究主題の下で取り組む今年度（3年次）からは4年計画の後期に入る。後期の2年間は、副主題を「『豊かな人間性』へ高める」とし、前期2年間の成果と令和5年8月に開催した日本連合教育会研究大会山口大会の成果を生かしながら、人間性を高めるための方途を追求するとともに、「豊かな人間性」と「生き方」について追求したいと考えている。

具体的には、下記の方針により活動を具体化したいと考える。

- ① これまで一貫して取り組んできた「教育世論の高揚」「教育研究の奨励」「教育環境の整備」「教育実績の顕彰」「文化遺産の継承」は、本会の事業立ての柱として踏襲する。
- ② とりわけ「教育世論の高揚」にかかる事業においては、激しく変化し先行きが見えにくい時代の中で、「人間性豊かに生きる」という視点からどのような資質・能力を育めばよいか、また、その方途はどうあるべきかということ意識して取り組むことができるよう機会を捉えて関係者に働きかける。
- ③ 「教育研究の奨励」にかかる助成事業においても、本研究主題の趣旨を啓発するとともに、主題解明により迫る教育研究を積極的に評価・助成を行う。

II 事業

1 教育世論の高揚事業

○第23回やまぐち教育の日・第51回山口県教育県民大会

厚狭地区大会の開催

主催（一財）山口県教育会 他関係団体
共催 山陽小野田市教育委員会 宇部市教育委員会
美祢市教育委員会
期日 令和6年11月2日(土)
会場 不二輸送機ホール（山陽小野田市文化会館）
大会主題

「人間性豊かに生きる」

～共に学びあい、支えあう～

内容

12:20～ アトラクション
山陽小野田市少年少女合唱団
13:00～ 開会行事（募集作品の表彰含む）
14:15～ 実践発表
15:00～ 講演「大学と地域とのつながり」
山陽小野田市立山口東京理科大学
理事長 池北 雅彦 様
16:00～ 閉会行事
※次期開催地あいさつ周南地区

○「元気やまぐち」三つのアクション

（平成17年度山陽小野田大会にて採択されました）

- ・あいさつ 返事で 明るいやまぐち
【「おはよう」「ありがとう」大きな声で】
- ・笑顔でつなぐ 安心やまぐち
【ジョギング 散歩 安心ネット（見守り隊）】
- ・ゴミ 落書きのない 美しいやまぐち
【拾おう 消そう みんなで実践】

○地区別教育振興フォーラム

時期 令和6年11月1日(金)～7日(木)の教育週間を中心に実施する。
会場 各地区の開催担当支部が決定する。
内容 地域活動の発表、講話、シンポジウム等

○教育活動の情報発信

- ・情報紙「山口県教育」の編集・発行（奇数月）
特別号（4月：山口県教育会事業の紹介等）
- ・ホームページの随時更新

※令和5年度の現職研修助成事業と地域活性化活動助成事業の活動報告はホームページ（トップページ>事業）から閲覧できます。

2 教育研究の奨励事業

○第2回授業力アップセミナー

期日 令和6年8月8日(木)～9日(金)
 会場 パルトピアやまぐち
 参加者 小学校教諭、中学校教諭 各6人程度
 内容 小中学校社会科
 「よりよい社会を形成していく力を育てる社会科学習」
 ・指導実践例に基づく発表、意見交換
 ・指導案作成、模擬授業、研究協議

申込締切 令和6年6月6日(木)
 ※詳細については5月号でお知らせしますが、学校へお届けているポスターや山口県教育会のHPでもご確認いただけます。

○第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会への参加

- ・リモート開催のためオンラインでの参加
- ・申込等、詳細は5頁の案内をご確認ください。

○教育団体研究補助事業

- (1) 教育団体が主催の本県で開催される全国大会、中国四国大会等
 補助金額 5万円～10万円
 - (2) 小学校教育研究会、中学校教育研究会、公立学校教頭会が実施する教育研究会
 補助金額 各団体につき15万円
- 申込締切 令和6年5月31日(金)

○現職研修助成事業

対象 個人、学校、同一校教職員によるグループ、複数校教職員によるサークル

対象とする研修

- ・教育課程の編成・実践、指導方法の工夫、教材開発、評価の研修など
- ・研修会、研究発表会、講演会等の開催及び研究集録等の刊行など
- ・研究大会、学会への参加や先進地の視察など

助成金額及び助成件数

種別	助成金額	助成件数	留意点
学校研修(※)	4万円 3万円	若干数 20件程度	1校につき1件
グループ研修 サークル研修	2万円	5件程度	各部1校につき1件
個人研修	2万円	5件程度	

※「学校研修」助成は「教育会加入率が60%以上、又は会員数25名以上のいずれかであることが望ましい」としています。

申込締切 令和6年6月7日(金)



キャリア教育に位置づけた町探検(楯東小)



学び直し…地域の方とともに(佐波中)

3 教育環境の整備事業

○地域活性化活動助成事業

対象
 ・趣旨に適合した一般団体及び学校
 ・学校と連携して地域の活性化に取り組むPTA
 ・学校と連携して地域の活性化に取り組むグループ、団体

対象とする活動
 ・地域の活性化を図る計画的、継続的な教育活動
 ・学校支援の活動、地域の子どものための教育支援及び教育環境整備の活動
 ・地域の伝統文化、文化遺産等の継承活動

助成金額及び助成件数

助成金額	助成件数	留意点
4万円	若干数	・1団体につき1件 ・申請者は、会員であることが望ましい。
3万円	40件程度	

※助成金の用途について、支出項目は限定しないが飲食費は除く。

申込締切 令和6年6月7日(金)

○支部活動振興助成事業

対象 山口県教育会各支部
 対象とする活動(各支部が主体となるもの)
 ・支部組織・機構の整備、充実活動
 ・教育世論を喚起・結集する活動
 ・地域の伝統文化、文化遺産等の継承活動
 ・青少年の健全育成活動
 ・学校、地域との連携活動
 ・会員確保の取組

助成金額

年間助成金総額は70万円以内とし、その範囲内で事業内容等を勘案して助成金額を決定する。

申込締切 令和6年7月5日(金)

○地域活動の推進

○支部組織の充実

- ・支部研修会の充実
- ・支部組織の充実と教育会活動の推進
- ・会員1万名以上目標
(小・中学校現職教職員の60%加入をめざす)

○学校、公民館(地域交流センター)、自治会等との連携の推進



太鼓の演奏(むつみ小)



小学校でのあいさつ運動(太華中)



読み聞かせ(田布施中)



花いっぱい運動(周南熊毛支部)

人間性豊かに生きる — 「豊かな人間性」へ高める—

4 教育事績の顕彰事業

○「わたしの志」作文の募集と表彰

第15回「わたしの志」作文募集

- ・募集部門 小学生（4年生以上）、中学生、高校生の3部門
- ・賞 山口県教育委員会教育長賞（最優秀） 一編
松風会理事長賞（優秀） 一編
山口県教育会会長賞（優秀） 各部門一編
努力賞（佳作） 各部門数編

・表彰

令和6年11月2日(土)に山陽小野田市で行う第23回やまぐち教育の日・第51回山口県教育県民大会厚狭地区大会で表彰式を行う。

・表彰作品の発表

最優秀作品は、表彰式において作者が朗読を行うとともに、山口県教育会が発行する情報紙「山口県教育」に掲載する。

最優秀作品を含む優秀作品は、山口県教育会のホームページにおいて公表する。

・応募締切 令和6年9月5日(木)

○支部・地域の教育事績の顕彰活動支援

- ・松陰に親しむ会 (防府・萩支部)
- ・松陰の道歩行大会 (防府支部)
- ・松陰を学ぶ会 (萩支部)
- ・子どもが学ぶ松陰先生 (萩支部)
- ・郷土の偉人・文化に学ぶ会 (防府支部)

○松風会共催事業の支援

5 文化遺産の継承事業

○「金子みすゞ賞」童謡詩の募集と表彰

第36回「金子みすゞ賞」童謡詩募集

- ・募集部門 小学生、中学生、高校生・一般の3部門
- ・賞 山口県教育委員会教育長賞（最優秀） 一編
山口県教育会会長賞（優秀） 各部門一編
努力賞（佳作） 各部門数編
学校賞 一校

・表彰

令和6年11月2日(土)に山陽小野田市で行う第23回やまぐち教育の日・第51回山口県教育県民大会厚狭地区大会で表彰式を行う。

・表彰作品の発表

最優秀作品は、表彰式において作者が朗読を行うとともに、山口県教育会が発行する情報紙「山口県教育」に掲載する。

最優秀作品を含む優秀作品は、山口県教育会のホームページにおいて公表する。

・募集締切 令和6年9月5日(木)

○支部・地域の文化遺産の継承活動支援

- ・月性剣舞保存会 (柳井支部)
- ・小松もみ山保存会 (大島支部)
- ・三作神楽クラブ (周南新南陽支部)
- ・徳修館顕彰保存会 (周南熊毛支部)
- ・重源太鼓継承活動 (佐波支部)
- ・徳地史談会 (佐波支部)

6 編集出版等事業

・教育関係書籍

「高校生活への道しるべ」「思春期の子どもをもつ親の悩みに答える20章」

・吉田松陰関係書籍

「松陰読本」「松陰先生に学ぶ」「維新の先覚 吉田松陰」「松陰と道」

・金子みすゞ関係書籍

「わたしと小鳥とすずと」「ほしとたんぼぼ」「この道をゆこうよ」

・学校関係

「出席簿」「給食日誌」「物資受払簿」「衛生点検票」「検食簿」

「ふるさと山口わか校歌」(CD)、吉田松陰先生座像

7 会館管理運営事業

- ・安全で合理的な会館の運営とサービス向上
- ・研修室、会議室、ホールの稼働率向上
- ・施設・備品の計画的改修と整備

詳しくは、ホームページで

山口県教育会

(<http://www.ykyoikuk.or.jp>)

III 予算

一般会計

収入の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
基本財産運用益	993,000	
受取会費	15,250,000	通常、終身等会費
受取補助金等	486,000	山陽小野田市、民間団体等
受取寄付金・雑収益	101,000	
評価損益等調整	16,976,800	
収入合計	33,806,800	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
事業費	28,026,800	助成金、活動費等
管理費	5,780,000	会議費、通信費等
支出合計	33,806,800	

事業会計

収入の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
事業収益	6,602,000	書籍販売
雑収入	461,000	
評価損益等調整	1,960,000	
収入合計	9,023,000	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
事業費	8,042,000	印刷費、運搬費等
管理費	981,000	会議費、手数料等
支出合計	9,023,000	

会館会計

収入の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
事業収益	16,000,000	ホール・研修室使用料
受取負担金	14,710,000	入居団体負担金
雑収入	251,000	自販機、利息等
経常損益等調整	14,279,400	
収入合計	45,240,400	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
事業費	32,905,400	修繕費、消耗品費等
管理費	12,335,000	光熱費、会議費等
支出合計	45,240,400	

令和5年度 助成及び補助事業の実績

1 現職研修助成事業 (合計43件 133.5万円)

種別	応募件数	採択件数	助成金額
学校研修	43件	34件	107万円
グループ研修	4件	4件	12万円
サークル研修	1件	1件	3万円
個人研修	7件	4件	11.5万円

2 地域活性化活動助成事業 (合計49件 152万円)

- 応募件数 64件
- 採択件数・助成金額
 - ・ 1件×5万円 5万円
 - ・ 3件×4万円 12万円
 - ・ 45件×3万円 135万円

4 支部活動振興助成事業

合計 8支部 21件 63.7万円

5 熟年活動支援助成事業

合計 1団体 1件 5万円

3 教育団体研究補助事業 (合計6件 64万円)

団体の部 I

- ・ 小学校教育研究会 15万円
- ・ 中学校教育研究会 15万円
- ・ 公立学校教頭会 15万円

団体の部 II (全国大会・中国大会等)

- ・ 全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会山口大会 7万円
- ・ 全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会山口大会 中国地区公立小・中学校女性校長会研究協議大会山口大会 7万円
- ・ 山口県へき地・複式教育研究大会 5万円

令和5年度 件数及び金額の合計

・ 現職研修助成	43件	133.5万円
・ 地域活性化活動助成	49件	152万円
・ 教育団体研究補助	6件	64万円
・ 支部活動振興助成	21件	63.7万円
・ 熟年活動支援助成	1件	5万円

第75回日本連合教育会研究大会 愛媛大会のご案内

- 1 大会主題 共助のところで しなやかに生きる日本人の育成
- 2 主催 日本連合教育会 公益財団法人愛媛県教育会
- 3 期日 令和6年7月25日(木)～26日(金)
- 4 会場 エスポワール愛媛文教会館〔〒790-8545 松山市祝谷町I丁目5-33〕他
- 5 大会日程

	9:00	9:40	10:10	10:30	11:50	12:30	13:35	14:00	16:40
7月26日(金)	開会式	全体会	休憩	記念講演	昼食	アトラクション	移動	分科会	

記念講演 演題 「不透明な時代を生き抜く力を子供たちへ 藤岡弘、生き様を語る」

講師 藤岡 弘、様 (俳優・武道家)

アトラクション 合唱 (愛媛大学教育学部附属小学校)

吟詠剣詩舞 (愛媛県立松山北高等学校・今治西高等学校)

創作歌舞伎舞踊 (松山市久谷地区伊予八百八狸保存会)

分科会 ①教育課程 ②学習指導 ③道德教育 ④人権教育 ⑤特別支援教育

⑥幼児教育 ⑦学校・家庭・地域社会の連携 (シンポジウム形式)

- 6 参加経費 オンライン参加者参加費2,500円 (大会資料代等) については (一財) 山口県教育会が負担する。
* 愛媛大会はリモート開催

- 8 参加人数 32人 (予定)

- 9 参加申込 (一財) 山口県教育会へ、電話 (TEL 083-922-0383) で参加申込を行う。
* 申込者多数の場合は、初めて参加される者を優先して参加者を決定する。

- 10 申込締切 令和6年4月26日(金)

- 11 問合せ先 (一財) 山口県教育会 山口市大手町2-18 (TEL) 083-922-0383 (FAX) 083-922-5768

お知らせ 令和6年度からの情報紙「山口県教育」の発行について

これまで情報紙「山口県教育」は、毎月発行してまいりましたが、諸般の事情により、令和6年度から特別号 (4月: 山口県教育会事業の紹介等) と奇数月 (5月、7月、9月、11月、1月、3月)、合計7回の発行とさせていただきます。楽しみにされておられる会員の皆様には申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

大切な命を守り、たくましく生き抜く 子どもたちの育成に向けて



防府市立中関小学校

校長 亀田 浩太郎

本校は、防府平野の南部に位置し、開校150年を迎えた伝統ある学校です。かつては港や製塩で栄え、近年では、自衛隊の駐屯、工業団地の造成、新興住宅の建設に伴い、古い伝統と近代化が融合した新しい気風が醸成されています。

全校700余名の子どもたちは、毎朝、緑色のジャンパーを身にまとった「中関みまわり隊」の方々と、地域の当番の方々などに見守られ、元氣よく登校してきます。登下校の見守りだけではなく、校区の安全マップを作成のために子どもたちと一緒に地域の危険な場所を見つけていただいたり、学力向上のための九九教室にご協力いただいたり子どもたちのために尽力していただいています。私自身も毎朝子どもたちと一緒に歩き、地域の方々にあいさつをし、感謝の言葉を伝えていきます。

このように、「中関の子どもは中関で育てる」という地域の皆様の思いは熱く、子どもたちをおおして、地域のつながりが深まっていると強く感じます。

さて、中関小学校の校区は海拔0〜2メートルの地域が多く、昭和17年には「周防灘台風」による高潮災害が起こっています。また、近い将来に必ず起こると言われている南海トラフ巨大地震では、中関港周辺が震度5強の揺れに襲われ、約3メートルの津波が来る想定されています。南海トラフ地震の場合は、津波到達まで2時間程度かかると言われていますが、周防

灘断層群主部の地震が発生した場合は、10数分で津波が来る予想されています。子どもたちや教職員、地域住民の防災意識をいかに高めておくか、これが、大切な命を守るための重要なポイントと言えます。

そこで、令和3年度と4年度の6年生が、過去の高潮災害を風化させないために防災壁画の作成を企画しました。現在校舎がある場所は、過去に高潮で校舎が1メートル浸水したことを受け、浸水部分の高さの盛り土をしています。その盛り土部分の壁面に防災壁画を描くことにより、浸水部分を意識させることができま

す。現在は、完成した壁画について、折に触れ子どもたちに紹介し、意識を高めています。

また、教職員の危機対応能力向上をめざし、夏季休業中に消防署と連



防災壁画の作成

携し、救急シミュレーション訓練を行いました。児童がアナフィラキシーショックになった場合や、ガラスで頭部を大げがした場面などを想定し、救急車の要請から、それを受けて消防隊が到着、救命をし、患者を運ぶ時の消防隊及び教職員の動きについて訓練を行いました。

そして、校区内に自衛隊基地があるという地理的な環境もあり、令和4年度から、消防署や自衛隊と連携した避難訓練・防災学習を行っています。子どもたちや地域住民が見守る中、実際に救助用のヘリコプターが学校で離発着し、けが人をつり上げ搬送する訓練を行いました。

令和6年1月に、消防署・自衛隊に加え警察署も連携して避難訓練・防災学習を行う予定です。が、能登半島地震や広島県江田島の山林



自衛隊等と連携した防災学習

火災への実際の災害派遣が入り、延期になりました。そのため、通常の地震対応の避難訓練でしたが、能登半島地震をニュースで見ているためか、いつもに増して真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

人は生きていく中で、たくさんの困難や失敗、脅威や逆境などのつらい体験に出合います。予測不能な多様な時代を生き抜くために、「命を大切にする心」と「たくましさ」を育てていかなければなりません。これからも、コミュニティ・スクールと家庭、地域、企業や団体等の連携・協働により、郷土への誇りや愛着を育むとともに、子どもの豊かな学びや育ちを実現していくために全力を尽くします。

「主体者」として成長する生徒を支援する学校



美祢市立大嶺中学校
校長 渡辺 義征



学習指導要領の前文を見ると、少し乱暴な言い方になるかもしれないが「これからの学校は、生徒一人ひとりに社会的に自立する力を育むこと」が求められていると考えている。そのためには、生徒が「主体者」として成長する機会をつくらなければならない。どうすべきかを自分で考え、自分で決める。そして、大人は、実現できるように支援する。あくまで決定するのは生徒自身である。

主体的に学び取る、自立した学習者に

学習の「主体者」となるには、自ら課題を見つけ、解決に向け学習内容や学習方法を決定し、自らの学びをマネジメントすることができる自立した学習者にならなければならない。本校では、令和5年度から自由進度学習とスキルアップタイムを実施している。

自由進度学習とは、授業の進度を生徒自らが自由に決めることができる学習法で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する先行的な実践として注目されている。教師が作成した学習計画表に基づいて学び方や教材を生徒が選択・決定し、自分のペースで学習を進める。英語、数学、国語（文法）で実施した。

スキルアップタイムは、自由進度学習で行う学び直



しの時間で、各学年で10時間程度の学習を計画し英語や数学で学期に1回程度実施した。学級をとり習熟度別に大きく三つのグループを編成し、支援が必要な生徒はさらにいくつかの少人数グループで個別の支援をしている。

どちらの取組も実施後のアンケートで、学習意欲の高まりが感じられる記述がたくさん見られるなどとても好評である。

主体的に社会に関わる自立した人間に

「主体者」として学校生活を豊かで充実したものにするとも社会の仕組みやルールを学ぶために、ルールメイキングによる校則の見直しに取り組んだ。生徒会執行部が中心となって進め、縦割り班による協議により現行の校則の問題点と改正の提案をし、生徒総会での協議、改正案の作成と試行による検証と修正等を経て、職員会での承認が終わり2月19日からの改正にこぎつけた。今後も生徒会執行部が継続して見直しをしていく予定である。

取組後の生徒会長の言葉からは、「主体者」として活動したことによって大きく成長した姿が感じられる。



校則変更は難しいという固定概念が良くなかったと思いました。この数年間いるんな人が「校則を変えてほしい」と言っていました。しかし、変えられずにいたのは、「簡単ではない」と思われていたからだと感じました。今年取り組んだからこそ言えるのですが、本当に校則を変えられるんだというのが今の率直な感想です。また、校則を見直す中で、今の校則を守れていないことにも気づき、そこから変えていかなければいけないと思いました。そこで、生活委員が中心となり服装手エックなどを取り入れてくれました。そして、「変えられた」という大きな達成感を得ることができました。

約5か月間校則と向き合い生活してきましたが、はじめは考えられないことではありましたが現実、変わってきています。「これまで努力してきたよかったと思います。」
(生徒会長の言葉より)

大人が「主体的に活動し、本気で楽しむ

大人が「主体者」として本気で楽しむ姿を見せるためにPTA活動を見直し、従来の活動は一旦白紙にして自分たちがやりたいことに取り組んでいる。その一つが保護者主催のお祭り「ゆめサポフェスタ」で、生徒も任意のグループで自主企画を提案し参加している。

おわりに

社会の変化に伴って、教育も変わっていかなくてはならないと思う。近年、ティーンズからコーチングへという言葉を耳にすることが増えたが、私達大人は、指導ではなく任せて見守るという立ち位置で生徒にかかわるという意識改革を図る必要があるのではないか。これからも、社会に積極的にかかわり学び続けていく「主体者」として成長する生徒を支援する教育活動を展開していきたい。



(一財)
山口県
教育会

入会のご案内

学校(園)の教育活動を支援



和太鼓の発表

地域活動を推進



第74回日本連合教育会研究大会山口大会
第50回山口県教育県民大会



伝統文化を継承

「金子みすゞ賞」童謡詩
「わたしの志」作文



第35回「金子みすゞ賞」童謡詩
第14回「わたしの志」作文 入賞者表彰式



情報を効果的に発信



子どもも大人も夢をもって生きる豊かな学校や地域の創造にあなたの力を!!

あなたの会費を こんなことに役立てます

学校(園)の教育活動を支援します

- ・個人、学校(園)、グループ、サークルへの研修助成(コミュニティ・スクールの充実を含む)
- ・「授業力アップセミナー」の開催

地域活動を推進します

- ・「やまぐち教育の日・山口県教育県民大会」の開催
- ・地域協育ネットの活動充実のための助成
- ・地区別教育振興フォーラム、史蹟探訪等の地域活動助成

伝統文化を継承します

- ・「金子みすゞ賞」童謡詩募集
- ・「わたしの志」作文募集
- ・地域の文化遺産や伝統文化の継承活動助成

情報紙「山口県教育」を発行します

- ・会員相互の情報交流

詳しくは、ホームページをご覧ください。

山口県教育会 <http://www.ykyoikuk.or.jp>

入会にあたって

1 対象

- ・保育所・幼稚園・認定こども園、学校等の現職教職員と退職者
- ・一般県民、学校(園)のPTA会員、教育関係機関の職員、諸団体の職員

2 会費(年会費)

- ・通常会員…………… 2,000円
- ・賛助会員…………… 3,000円
- ・終身会員…………… 50,000円(入会時のみ)

3 入会申込

- ・現職教職員の方は、学校(園)の担当者に
- ・一般の方は、(一財)山口県教育会事務局、または、各支部担当者に

(一財)山口県教育会(組織課)

TEL: 083-922-0383

FAX: 083-922-5768

Email: ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp

終身会員の紹介

水品 英之 様(光) 秋川 茂 様(防府) 兜坂 弘子 様(防府)
山本 英文 様(山口) 森 和貴 様(下関)